

国保連合会・国保中央会のめざす方向2023

「国保連合会・国保中央会のめざす方向2023」は、審査支払機能に関する改革工程表に基づく取組推進や都道府県による保健ガバナンスの強化等の取り巻く環境変化の中、中長期的な視野に立って、連合会・中央会のめざす方向とこれを実現するための取組の在り方について取りまとめたものである。

連合会の運営理念

- 保険者の共同体としてニーズ把握に努め、コスト意識を持って事業運営を展開
- 国保をはじめ、後期高齢者医療、介護保険、障害者総合支援等の円滑な運営に貢献

中央会の運営理念

- 連合会とともに社会保障の根幹を成す各種事業の円滑・健全な運営をコスト意識を持って支援
- 会員である連合会と連携・協力して合意形成を図り、一体的な事業運営を実施

連合会・中央会のめざす方向

- 医療・保健・介護・福祉の総合専門機関としての地方自治体への貢献**
地方自治体の医療・保健・介護・福祉に関する業務の幅広い支援
- 審査支払業務の充実・高度化の推進**
審査支払業務の更なる深化、審査水準の向上
保険者ニーズに沿った審査手法の充実・高度化の推進
- データヘルス改革の推進**
改革の基盤を支える担い手として支払基金と連携・協力
KDBを活用した保健事業等の更なる強化
- 連合会のノウハウ等を活用した地域づくり等への幅広い貢献**
地方自治体や医療・介護関係者との関係性、医療保険・介護保険等の知識、ICTスキル等を活用した地域づくりへの参画や、地域共生社会の実現への貢献
- 連合会・中央会における強固な事業運営基盤の確立**
事業運営資金や人材の確保
コスト意識に基づいた効率的・効果的な事業運営

地域の実情を踏まえた連合会・中央会の事業計画等への反映
PDCAサイクルによる取組の推進等

めざす方向を実現するための包括的で継続的な取組の推進

医療・保健・介護・福祉の総合専門機関としての位置付けの明確化

連合会を「地方自治体の医療・保健・介護・福祉の業務支援を専門的・総合的に行う機関」として位置付け

事業運営の見える化と丁寧で分かりやすい説明による保険者等の理解・信頼・協力の獲得

- ①システム更改・運用に要する費用の保険者の理解の獲得
- ②手数料等算定の在り方

医療・保健・介護・福祉の総合専門機関としての具体的な取組の実施

- ①保健事業・データヘルス及び医療費適正化の充実
- ②後期広域連合との連携強化
- ③第三者行為求償事務の充実
- ④新規事業の受託

財政支援や制度改正等の国等への積極的な要請活動の展開

- ①積極的な要請活動の展開
- ②連合会の非課税団体化等

支払基金との連携による審査支払システムの整合性・効率性の確保やデータヘルス改革の推進

- ①審査支払システムの整合性・効率性の確保
- ②医療保険情報提供等実施機関としてのデータヘルス改革への対応

役職員の意識向上と人材の育成・確保のための取組の強化

人材育成・確保計画等に基づく積極的な取組

各種業務システムの適切な開発・運用等

- ①適切な対応の在り方
- ②システム開発及び保守運用を担う人材の確保育成の在り方
- ③国庫補助による財政支援
- ④財政安定化基金の活用等
- ⑤システムトラブル発生時等緊急時における事業継続性の確保

働きやすい職場環境づくり

職員が安心して業務に専念することができる職場環境づくりの取組推進

連合会・中央会間の協力体制の更なる強化と連合会間協力の推進

- ①連合会・中央会、連合会間の役割分担と協力関係の在り方
- ②意思決定等の在り方

※本報告は、連合会・中央会が一体となって業務を遂行していく上で、役職員一人ひとりが持つべき共通認識として、また保険者等の関係者と認識を共有する際の基本的な方向性・考え方として位置付けるもの。